

2026年2月発行

令和7年7月23日より都議会議員としての活動を始めました  
所属委員会は「環境・建設委員会」、副委員長を拝命しました  
公営企業会計決算特別委員会にて、令和6年度の決算審査を行いました  
これまでの約6ヶ月間の議員活動を報告させていただきます  
都民の幸福のために伴走してまいります

あまぬま  
天沼ひろし

## 公営企業会計決算特別委員会での総括質疑

※一部抜粋・要約しております

### 交通局

**Q** 高速電車事業におけるバリアフリー工事の計画について進捗状況を伺う

**A** 交通局長 答弁

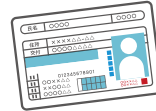
都営地下鉄では、全駅でエレベーター等によるワンルート整備を完了。今後も駅周辺の再開発と連携を図るなど、必要な空間を確保しながら計画的に取り組む。

(瑞江駅は北口のエレベータ新設工事が令和8年10月30日完成予定)

**Q** 交通局の運輸系職員の高齢化と退職のピークが今後20年間におとずれることから、今までも増して計画的な定数管理をすべきと考えるが

**A** 交通局長 答弁

運輸系職員の採用においては、SNSやデジタルサイネージを活用した採用案内のほか、仕事の魅力をPRする取り組みなどを実施。採用選考については、受験対象年齢の拡大や学歴・受験資格等の見直しを実施。大型二種免許の未取得者を対象として局の負担で免許を取得できるバス乗務員養成型選考を実施している。



### 水道局

**Q** 水道インフラを広く支える技術人材の重要性について、知事のご認識を伺う

**A** 知事 答弁

人材育成方針に基づき、日々の業務を通じたOJTはもとより、VR等を活用した体験型研修などを実施し、ノウハウの継承や技術力の向上等を図っている。首都東京の公営企業として、次の世代を担う人材の育成や技術継承に取組み、時代の要請を的確に捉えた質の高いサービスを安定的に提供していく。



## 環境・建設委員会事務事業質疑

※一部抜粋・要約しております

### 都市計画道路等整備

**Q** 都が実施している特定整備路線の意義について伺う

**A** 建設局 道路建設部長 答弁

特定整備路線は、火災による延焼の遮断や、避難路や緊急車両の通行路ともなるなど、地域の防災性向上に効果が高い。

**Q** 南小岩・東松本地域にある特定整備路線の、補助第142号線・第143号線について、現在の進捗状況を伺う

**A** 建設局 道路建設部長 答弁

補助第142号線の南小岩地区は延長約560メートル、補助第143号線の東小岩地区は延長約620メートルで事業を実施。用地取得率は、令和7年9月末時点でそれぞれ、81%、88%。現在は、東小岩四丁目交差点において、交差点改良工事を実施。



### 天沼ひろしの考え

切迫性が指摘されている首都直下地震への備えは重要であり、区で実施している不燃化特区の取組みと、都で実施している特定整備路線の整備を一体的に進めていく取組みが重要です！

**Q** 新中川・中川・旧江戸川などにおける耐震対策の進捗状況について伺う

**A** 建設局 河川部長 答弁

新中川においては令和6年度末までに耐震延長の約6割、中川では約6割、旧江戸川では約7割の耐震対策が完了。今年度は、新中川では松本橋下流などで約500m、中川では船堀橋下流などで約900m、旧江戸川では浦安橋下流で約200mを完了予定。

### 天沼ひろしの考え

私も、江戸川区在職時に木密事業に携わったことがあり、区による不燃化特区の取組みと、特定整備路線の整備に取り組むことで、地域の安全性がより高まることを、身をもって体験しています。今後も区と連携し、丁寧な対応で木密地域の改善を図り、江戸川区の防災性向上に努めていただきますよう要望します。

裏面に続きます

# 瑞江葬儀所の新施設について

**Q** 瑞江葬儀所新施設の整備について、当初の完成予定と現在の進捗状況を伺う

**A** 建設局 公園建設担当部長 答弁

瑞江葬儀所新施設の整備については、令和4年10月に建築工事に着手、当初の完成時期は令和6年8月予定。関連工事の契約不調や、地中障害物などの影響により工期延伸を行い、現在は令和8年2月末の完成に向け、工事を実施している。

**Q** 新施設の特徴について伺う

**A** 建設局 公園建設担当部長 答弁

最新の火葬炉を備え、排煙設備等の環境性能が改善。利用者のプライバシーに配慮するため、個々の火葬炉に対応する個室を設けており、利用者はこの個室で火葬前のお別れと火葬後の収骨を行うことが可能。

## 天沼ひろしの考え

新施設が最新設備により、更に「無煙・無臭・無公害の施設」で「葬前の礼を厚くし、その取扱いを丁寧に」「炉の格差を設けず、比較的低廉な料金で、心付けは無用」であること等の基本理念により運営を続けられるよう、要望しました！



# 葛西臨海水族園リニューアルについて

**Q** 新しい葛西臨海水族園の整備の進捗状況について伺う

**A** 建設局 公園建設担当部長 答弁

新しい水族園は、PFI方式を採用して事業を実施しており、現在は土の搬出や基礎杭の打設を進めており、年明け以降は、順次コンクリート打設などを行い、躯体工事をすすめていく予定。水槽内の造形等を含めた展示の詳細については、専門家から助言を得ながら検討を進めており、令和10年の開園に向けて魅力的な施設としていく。

**Q** 新たな水族園を楽しみにしてくれるファンを増やしていくためのソフトの取組み状況について伺う

**A** 建設局 公園建設担当部長 答弁

新しい水族園のオープンに向けては、子供たちと一緒に考える取組みを推進することとしており、展示する魚の一部を子供たちが決めるプロジェクトや、サンゴを育て環境を学ぶプロジェクトなどを実施。11月上旬には、新しい水族園の「小笠原諸島」の水槽で展示する魚の一部を決定する投票イベントを開催し、解説パネルなどで楽しく学びながら投票してもらったほか、地元区を通じて、全区立小学校の児童を対象としたオンライン投票も行い、約4,000件の投票があった。

## 天沼ひろしの考え

新たな建設にあたり、樹木の保存やソーラーパネルの設置について、一層の住民理解が進むよう、引き続き丁寧な説明と、リニューアル後の都民の期待に応える、夢のある取組みになることを要望しました！

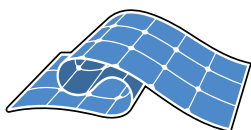


# 太陽光エネルギー

**Q** 軽量で柔軟な特徴を持つAirソーラーは、再生可能エネルギーの導入拡大に資する革新的な技術だが、普及拡大に向けた取組み状況を伺う

**A** 環境局 再生可能エネルギー実装推進担当部長 答弁

都はこれまで、都有施設等を活用した実装検証に取組むとともに、開発事業者向け支援によって、Airソーラーの早期実用化に向けた技術的課題の解決を後押ししている。また、都有施設への先行導入による設置事例の蓄積や、民間事業者がAirソーラーを導入する際の機器費や施工費を補助する導入支援事業の実施に向けた取組みも推進している。



**Q** 太陽光発電の既存戸建てへの普及について都では、初期費用ゼロのサービスを対象とした補助制度を実施し、住宅への太陽光発電設備の導入を支援しているが、その実績と今後の普及には事業者とのより一層の協働が必要という考え方について伺う

**A** 環境局 再生可能エネルギー実装推進担当部長 答弁

令和7年9月末時点では新築建売住宅を中心に前年同期比の約2倍の申請があるなど、初期費用ゼロの仕組みが着実に拡大している。今後、本事業のメリット等について事業者と緊密に連携し、様々な機会を活用して都民に広く普及をすることで、サービスの利用拡大を図り、さらなる太陽光発電設備の設置拡大を推進する。

都民の幸福のために伴走します

みなさまの都政に対する  
ご意見・ご要望をお待ちしております！

E-mail kokumin.amanuma@gmail.com TEL 090-5347-4605

東京都議会議員  
国民民主党東京都議団

あまぬま

天沼ひろし

プロフィール  
1962年5月31日 江戸川区南小岩生まれ  
南小岩第二小学校、小岩第二中学校、両国高校、千葉大学法経学部法学科卒  
1985年 江戸川区役所 総務部職員課入区  
2025年6月 東京都議会議員選挙（江戸川区選挙区）にて初当選

